



和太鼓と祭り囃子

力強い音色と、祭りを彩るリズム



この教材の使い方

1

見て・ふれて・感じる

写真や実物、動画でも確かめてみましょう。身近な行事や食べ物の中にも、日本文化はたくさんあります。

2

「なぜ？」を考える

行事やしきたりには、それぞれ意味や願いがこめられています。由来を知ると、ぐっと面白くなります。

3

「やってみよう」で体験する

答えは30ページにあります。家族や地域の人に話を聞くのもおすすめです。地域によるちがいも楽しみましょう。



Ken (ケン)

日本の中学生。地元のお祭りが大好き。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。日本文化を勉強中。

もくじ

和太鼓の世界	3～4
和太鼓のしくみ	5～11
和太鼓を楽しむ	12～15
深めよう	16～21
マナーと用語	22～23
復習	24～25
伝えよう	26～27
ふり返り	28～30

和太鼓ってなに？

和太鼓は、日本に古くから伝わる打楽器です。

和太鼓（わだいこ）は、木のどうに皮を張ってつくる、日本に伝わる打楽器です。神社の祭りやお寺の行事、田植えの合図など、さまざまな場面で使われてきました。



和太鼓が使われる場面

祭り

神社の儀式

お寺の行事

合図の音

舞台での演奏

太鼓の音には、人を集めたり、気持ちを一つにしたりする力があるといわれています。

ポイント

- 太鼓の音は遠くまで届くため、合図としても使われてきました。
- 地域によって、太鼓の形や大きさ、鳴らし方がちがいます。

やってみよう

1. 和太鼓の音を聞いたことがありますか。どんな場面でしたか。

ワンポイント ドーンという低い音は、体の中まで響くように感じられます。

書いて覚えよう

祭りとお太鼓・祭り囃子

祭りには、太鼓を中心にした「祭り囃子」が欠かせません。

祭りの日、神社やお寺の境内、まちなかには**太鼓**の音が響きます。太鼓は、祭りを盛り上げる音として親しまれてきました。

太鼓に笛やかねが加わった合奏を**祭り囃子**（まつりばやし）と呼びます。



ポイント

- 祭り囃子は、山車や屋台の上で演奏されることが多いです。
- 地域ごとに曲や演奏のしかたにちがいがあります。



Ken

うちの地域の祭りでは、山車の上でお囃子を演奏するんだ。

Emma

太鼓の音、遠くまで聞こえてきたよ！



やってみよう

1. 地域の祭りで、太鼓の音を聞いたことを思い出して書こう。

書いて覚えよう

祭り囃子は、太鼓・笛・鉦が組み合わさってできています。

ふえ / fue

高く澄んだ音を出す楽器。曲のメロディを担う

かね／kane

金属でできた打楽器。かん高い音でリズムをきざむ

- 太鼓が低い音、笛が高い音、鉦がかん高い音を出し、それぞれの音が重なり合います。
- 楽器の組み合わせによって、祭り囃子の雰囲気が変わります。

1. 太鼓・笛・鉦、それぞれの音をことばで表してみよう。

祭り囃子は、地域によって曲や編成がちがいます。

江戸と京都には、それぞれ知られた祭り囃子があります。

和太鼓には、大きさや形のちがう種類があります。

8

太鼓との距離

正しい打ち方を身につけると、太鼓の音がよく響くようになります。

- ばちを強く握りすぎず、手首や腕全体を使って打つことが多いです。
- 太鼓の中心と縁（ふち）では、音の高さがちがいます。

1. 太鼓を打つまねをして、腕の振り方を確かめてみよう。

9

Lesson
11

かけ声

太鼓の演奏には、リズムを合わせる「かけ声」があります。

ソイヤ

soiya

力を合わせるときに使われるかけ声

ヨイショ

yoisho

調子を合わせるときに使われるかけ声



Ken

意味というより、みんなで気持ちとリズムを合わせるためのものだよ。

Emma

かけ声にも意味があるの？



ポイント

- かけ声は、演奏する人たちの息を合わせる役わりがあります。
- 祭りによって、使われるかけ声がちがいます。

やってみよう

1. 知っている祭りのかけ声があれば、書いてみよう。 _____

書いて覚えよう

組太鼓

複数の太鼓を組み合わせて演奏する「組太鼓」という形もあります。

組太鼓（くみだいこ）とは、大きささまざまな太鼓を組み合わせ、舞台上で演奏するスタイルです。

昭和の時代に、こうした合奏の形が広まっていったといわれています。



ポイント

- 組太鼓では、太鼓の高さや強弱を使い分け、迫力ある演奏をつくります。
- 祭りで演奏される太鼓とは別に、舞台芸能としての太鼓演奏も広がっています。

やってみよう

1. 舞台上で演奏される組太鼓を、映像などで見てみよう。

書いて覚えよう

太鼓のリズム

太鼓の演奏には、くり返しのリズムが使われます。

リズムを感じよう

太鼓の演奏では、同じリズムをくり返しなが、少しずつ強さや速さを変えていくことがあります。
手拍子で簡単なリズムを打ってみると、太鼓の演奏がより身近に感じられます。

やってみよう

1. 「ドン・ドン・ドドン」のリズムを、手拍子で打ってみよう。
2. 打ってみて気づいたことを書こう。

書いて覚えよう



- 地域の集会所や神社で、練習が行われることが多いです。
- 子どものうちから参加することで、地域の文化が自然に受けつがれていきます。



小学生のとき、地域のお囃子教室に通っていたよ。

Emma

子どもも参加できるんだね！



1. 自分の地域に、祭り囃子を教えてくれる場所があるか調べてみよう。

書いて覚えよう

祭り囃子や太鼓は、受けつぎ方や見せ方にも工夫があります。

- 祭り囃子は楽譜がないことも多く、耳で聞き、体で覚えて伝えられてきました。
- 担い手が減っている地域もあり、継承への取り組みが行われています。
- 舞台の太鼓演奏では、動きや衣装で見せ方を工夫することもあります。

やってみよう

1. 祭り囃子を後の世代に伝えるには、どんな工夫ができると思いますか。

書いて覚えよう

太鼓の魅力は、実際に音を出すとより深く感じられます。

太鼓や道具を強くたたきすぎたり、ばちを振り回したりしないよう注意しましょう。

1. 机やダンボール箱をやさしくたたいて、簡単なリズムをつくってみよう。
2. 太鼓の音を聞いたり、たたいたりして感じたことを書こう。

書いて覚えよう

写真や実物を見てみよう

写真や実物を見ると、和太鼓がもっと身近に感じられます。

見てみたいもの

宮太鼓

締太鼓

ばち

祭りの山車

祇園囃子の楽器

博物館や祭りの記録映像でも見ることができます。

やってみよう

1. 和太鼓の写真を1つ見つけて、形の特ちょうを書こう。
-
2. 祭りの山車や屋台の写真があれば、太鼓の位置を確かめてみよう。

ワンポイント 地域の資料館に、祭りで使われた太鼓が展示されていることがあります。

書いて覚えよう

体験してみよう

音を出して、太鼓のリズムに親しんでみましょう。

やってみよう

紙箱やバケツをたたく

手拍子でリズムをとる

かけ声を出してみる

太鼓がなくても、身近なものでリズム遊びができます。

ポイント

- 強くたたきすぎると壊れたり音が出しにくくなったりするので、力かげんに気をつけましょう。
- 太鼓や道具を借りるときは、正しい持ち方や置き方を確認しましょう。

やってみよう

1. 身近なものをたたいて、好きなリズムをつくってみよう。
2. つくったリズムに、かけ声を合わせてみよう。

書いて覚えよう

由来と意味をおさらい

学んだ和太鼓・祭り囃子の由来を確認しましょう。

ことば	由来・意味
和太鼓	木のどうに皮を張った、日本に伝わる打楽器
祭り囃子	太鼓・笛・鉦を組み合わせた祭りの合奏
組太鼓	複数の太鼓を組み合わせて演奏する形
かけ声	演奏の息とリズムを合わせることば

ポイント

- 由来を知ると、祭りで太鼓の音を聞いたときの楽しみ方が広がります。

やってみよう

- この中から1つえらび、家族に説明してみよう。

書いて覚えよう

地域によるちがい

祭り囃子や太鼓には、地域ごとのちがいがあります。

共通すること

多くの地域で見られること

太鼓・笛・鉦を使う

基本の編成が共通していることが多い

祭りを盛り上げる役わり

人を集め、気持ちを一つにする

ちがうこと

地域によって形がちがうもの

曲名や演奏のしかた

江戸の祭り囃子、祇園囃子など

太鼓の種類や大きさ

地域や祭りによって異なる

ポイント

- 「祭り囃子は必ずこうする」と決めつけず、地域ごとのちがいを楽しみましょう。

やってみよう

1. 自分の地域の祭り囃子について、知っていることを書こう。

書いて覚えよう

昔と今をくらべよう

太鼓の使われ方は、時代とともに少しずつ変わってきました。

普

合図や信仰と結びついた太鼓

使われ方

祭りの儀式や合図として

演奏の場

主に地域の祭りや神社

今

演奏そのものを楽しむ太鼓

使われ方

舞台芸能や体験教室としても

演奏の場

祭りに加え、ホールやイベントでも

ポイント

- 祭りの中の太鼓という役わりは、今も昔も変わらず大切にされています。

やってみよう

1. 昔と今で、いちばん変わったと思うところを書こう。

書いて覚えよう

よくある疑問

和太鼓や祭り囃子について、よくある疑問を確認しましょう。

太鼓は重くて大変そう...

太鼓の大きさはさまざまで、小さな締太鼓なら子どもでも扱えます。

楽譜はあるの？

口伝えや体で覚える方法が中心で、楽譜を使わないことも多いです。

誰でも参加できるの？

地域の保存会などで、初心者向けの練習が行われていることがあります。

ポイント

- わからないことは、地域の保存会や資料館に聞いてみるとよいでしょう。

やってみよう

1. 和太鼓や祭り囃子について、疑問に思うことを1つ書こう。

書いて覚えよう

マナーと注意点

太鼓の演奏や祭りを見るときに、気をつけたいことがあります。

ポイント

- 演奏中は、勝手に太鼓や道具にさわらないようにしましょう。
- 山車や屋台のまわりでは、演奏者や周囲の安全に気をつけましょう。
- 写真や動画を撮るときは、撮影してよい場所かを確認しましょう。

ワンポイント 太鼓の音が大きいと感じるときは、少し離れた場所から楽しむのもおすすめです。

やってみよう

1. 祭りやお囃子の練習を見学するときに気をつけたいことを1つ書こう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきたことばを確認しよう。

楽器

☐ 太鼓

木のどうに皮を張った打楽器

☐ 笛

高く澄んだ音を出す楽器

☐ 鉦

金属でできた打楽器

祭り囃子

☐ 祭り囃子

太鼓・笛・鉦を組み合わせた合奏

☐ 祇園囃子

祇園祭の山鉦で演奏される囃子

☐ かけ声

息とリズムを合わせることば

ワンポイント 覚えたことばに✓をつけよう。ことばを知ると、祭りのお囃子をもっと楽しくなります。

書いて覚えよう

- | | | |
|--------------------------|---------------------|-----------|
| ☐ | 太鼓・笛・鉦の役わりを言える | 祭り囃子の基本編成 |
| ☐ | 太鼓の種類を1つ以上言える | 宮太鼓・締太鼓など |
| ☐ | 地域による祭り囃子のちがいを説明できる | 江戸・祇園など |
| ☐ | 太鼓を使ったリズム遊びをした | 身近なものでOK |

- ✓がつかなかった項目は、もう一度そのページを読み返してみましょう。

家族や友だちに話してみよう

学んだ日本文化を、自分のことばで伝えてみよう。

伝える相手

和太鼓ってなに？

祭り囃子の楽器

印象に残ったこと

Ken の例

伝える相手 お父さん／和太鼓ってなに？ 木のどうに皮を張った日本の打楽器／祭り囃子の楽器 太鼓・笛・鉦／印象に残ったこと かけ声で息を合わせるところ

ポイント

- 聞いてもらう相手に合わせて、ことばを選んでみましょう。

書いて覚えよう

和太鼓を、短い英語でも紹介できるようにしよう。

和太鼓を、短い英語でも紹介できるようにしよう。

ワダイコ・アー・トラディショナル・ジャパニーズ・ドラムズ

和太鼓は、日本の伝統的な太鼓です。

ゼイ・アー・オフン・プレイド・アット・フェスティヴァルズ

祭りで演奏されることが多いです。

ザ・サウンド・オブ・タイコ・ブリングズ・ピープル・トゥゲザー

太鼓の音は、人々の気持ちを一つにします。

1. 3つの英文を声に出して読んでみよう。

2. 外国から来た人に和太鼓を紹介するなら、どの文を使いますか。

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins or other markings on the paper.

もっと知りたい人へ

和太鼓と祭り囃子の世界は、ここからどんどん広がります。

調べる方法

図書館で

和太鼓や祭りの本を借りる

祭りへ

地域の祭り囃子を見に行く

動画で

組太鼓の演奏映像を見る

あわせて知りたいこと

能・狂言

舞台芸能とのつながり

神社の祭礼

地域の行事と音楽

日本舞踊

太鼓と踊りの関係

ポイント

- まずは映像で気軽に親しみ、機会があれば実際の祭りに足を運んでみましょう。

書いて覚えよう

和太鼓と祭り囃子チャレンジ

教室の外でも、和太鼓や祭り囃子はすぐに感じられます。

聞こう

地域の**祭り囃子**を映像や実際の祭りで
聞いてみる

調べよう

自分の地域に伝わる**太鼓**について調べ
る

伝えよう

和太鼓の魅力を家族や友だちに**話して**
みる

こたえ

L28 太鼓→イ 祭り囃子→オ 組太鼓→エ かけ声→ア 祇園囃子→ウ
2. まちがい / 正しい

L33 (例) 和太鼓・祭り囃子とは、祭りを彩る太鼓や笛、鉦によ
る日本の伝統音楽。

書いて覚えよう

和太鼓と祭り囃子 (Season 4 | No.38)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷がで
きます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。